

1級DCプランナー(企業年金総合プランナー)資格更新研修会
受講レポート(2018年10月20日)

登録番号

氏名

※本日の研修会における3つの講義について、講義のポイントならびに受講した感想を以下に簡潔にご記入ください。記入内容によっては、資格を更新できない場合がありますのでご注意ください。

◆講義 I : 企業年金等の現状と課題

《講義のポイント》

出生率の著しい上昇が「今後も期待できない中で」^{企業年金等の}公的年金にプラスした制度をうまく活用していくことが必要である。特に中小企業においては企業年金制度の実施割合が低いため、簡易型DCやイコフラスなどの制度を創設した。DB制度においても厚生年金基金、確定給付企業年金ガバナンスやガイドラインの見直しを行い、適正な運営が求められる。

《受講した感想》

新しい課長研修を楽しみにしていたが、とても丁寧でわかりやすかった。簡易型DC制度は、現在でも導入してあげたいところだが、総合型DCの設計において工夫すること、正直、わざわざ簡易型を導入する必要性が感じられないので、総合型DCにおいて更なる事務手続の簡略化を図っていたら嬉しい。特に選択性においては、イコフラスと同様の効率化を行うのも良いのではないかと。

～ご記入のうえ、受付にご提出ください～

(裏面に続く)

◆講義Ⅱ：企業年金制度統合に伴う課題と対応

《講義のポイント》

年金制度の改定においては、様々な困難がある。
事業主、受託機関、労組が一体となって取り組んでいく必要がある。
そのためにプロジェクトチームの結成や進捗管理、何れも丁寧に
説明していくことが大切である。

《受講した感想》

DCの運営業務専任者として、10の中で「あるある」と何度もつぶやきながら
聞いていた。厚生局の担当官においても濃淡があり、折衝の難しさを
感じている。特に申請書類の就業規則の提出で全加入専任などを提出
するのには私もおかしと思う。DBが今後専任ではないと比べると余計に減額し
このうちから事務の支離化を促している。
たい。

◆講義Ⅲ：公的年金の現状と課題

《講義のポイント》

公的年金の収支バランスについて、収入は賃金、支出は物価
である。想定として物価よりも賃金が上昇していることが健全な
運営につながるが、現在は物価の上昇に賃金の上昇が追いつ
いていないことが問題である。そのため、収支差額を増やしたり、
受給期間を短くするまたは遅らせる工夫が必要になってくる。

《受講した感想》

とてもおもしろい講義でした。公的年金制度を維持する
ためのしくみを楽しく理解することができた。年金額は所得代替率
と比較しているが、保険料収入の基礎である成年男子の給料
と比較しても現実（実感）としてあまり意味がないように感じた。

～ご記入のうえ、受付にご提出ください～